

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	七沢森林公園
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1) 指定管理業務実施にあつた考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として「安全で快適な利用空間の平等な提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。	計画通りに実施 ・公の施設として、誰もが平等に安心・快適に利用できる環境を提供した。 ・これまでの経験を活用し、地域や関係団体とも協力しながら、地域社会の発展に努めた。 ・施設や人材を貴重な資源ととらえ、将来にわたり持続可能な運営に努めた。	・提案書のとおり概ね適切に運営されている。 ・引き続き適切な管理運営に努めてもらいたい。	○			
					公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として、「森をまもり、人をささえ、地域とつながる公園づくり～未来につながる“エシカルパーク”を目指して～」を掲げ、「将来を見据えた計画的な森林更新」「森林を活かした健康促進プログラムの提供」「地域連携の強化と広域集客の推進」「柔軟性のある防災機能の確保」に取り組む。	計画通りに実施 ・樹林地の間伐や伐採等により発生した材を木炭や木酢液に生産し、木炭はバーベキューの燃料として、木酢液はコケの駆除に活用した。また、製材した間伐材を案内板や土留め柵に素材として活用した。 落ち葉はたい肥化施設に搬入し熟成させ、シャクナゲの肥料として活用した。 ・ヤマビル対策として、園路の清掃と除草を実施した。 ・来園者が安心・安全に公園で楽しめるよう、危険木の伐採や枯れ枝の除去など細やかな維持管理を行った。	・提案書のとおり概ね適切に運営されている。 ・間伐材や落ち葉を利用した資源循環型の維持管理の取組や、来園者が多く集まるバーベキュー場では落ち葉掻き等の努力によりヤマビル被害の軽減に努めている点も評価できる。 ・引き続き、倒木や落枝がないよう適切な管理運営に努め、来園者が公園で安心・安全に楽しめるよう、取り組んでもらいたい。	○			
					利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「平等な利用の確保」「利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	計画通りに実施 ・公園モニターやアンケート等を活用し、利用者や地域住民の声を取り入れながら業務改善に役立った。	・提案書のとおり概ね適切に運営されている。 ・引き続き、利用者や地域住民の声を取り入れながら、適切な管理運営に努めてもらいたい。	○			
					業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○ 公園の特性を熟知した職員により、直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業へ発注を優先する。	計画通りに実施 ・公平性の確保と業務の品質確保に配慮し公募型競争入札を採用し、一部の業務を除いて、地元優先とする地域要件を設定した。	・提案書のとおり概ね適切に業務を委託されている。 ・引き続き適切な管理運営に努めてもらいたい。	○			
	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 公園の特性や課題を踏まえ、「広大かつ丘陵地という立地特性に対応した安全かつ利用しやすい環境づくり」「将来を見据えた計画的な樹林地の更新による里山林の再生」「ヤマビル対策などによる安全で快適な園内環境の維持」等に取り組む。	計画通りに実施 ・午前中のパトロールで発見された異常は、その日の午後には補修した。 ・排水溝などに堆積していた落ち葉や土砂を除去した。 ・BBQ場の老朽化したテーブルを補修、ななさわの丘には間伐材を利用した休憩施設を設置した。 ・ナラ枯れ対策も実施した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に管理している。 ・引き続き、パトロール結果に基づく迅速な対応を行うとともに、こまめな施設の維持管理や利用者目線に立った施設の補修や設置、ナラ枯れした樹木への対応など、この公園の特性や課題を踏まえた適切な維持管理に努めてもらいたい。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 公園の特性に応じた独自の巡視体制を設け、公園職員が施設の状態を熟知し、不具合や危険箇所等の早期発見・対応を行う。また、歩きやすい園路づくりとして、ステップ丸太の増設や、危険箇所での注意看板の充実を図る等、立地特性を踏まえたハードとソフトの両面から安全確保に取り組む。	計画通りに実施 ・毎日巡視や利用者への声掛けを行い、事故防止に努めた。 ・日々のパトロールにおける枯損木等の発見や遊具の点検を行うと共に、作業員の安全対策として朝礼時に作業の危険予知など唱和を実施した。	・業務の基準及び提案書のとおり、適切に園内パトロールや遊具点検を行い、不具合箇所の早期発見と、指定管理料の中で積極的に修繕が行われ、事故防止に努めている。 ・スタッフの事故防止も含め、引き続き適切な安全確保に努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 利用状況に応じた施設清掃や落葉清掃等を行い、安全確保と環境美化に努める。 ○ 各種接遇研修等への参加を通じて、丁寧かつ利用者目線での対応と効率的な事務処理に努め、適切な受付対応を行う。 ○ 公園の大部分が樹林地や傾斜地で、事故発生リスクの高い危険箇所が多く存在することから、毎日巡視や利用者への声掛け等を行い、事件・事故の未然防止に努める。	計画通りに実施 ・トイレをはじめ各施設の課題を踏まえた対応を行った。 ・丁寧かつ利用者目線での対応に努めた。 ・毎日の巡視・点検による園内の安全確認とあわせて利用者への声掛けや利用指導を行い事件事故防止に努めた。	・業務の基準及び提案書のとおり、適切にトイレなど施設の清掃、受付、巡視が行われている。 ・引き続き、利用者への声掛けや利用指導を行い事故防止に努め、利用者目線に立った、適切な業務に努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）					
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他			
I サービスの向上	(2)	施設の維持管理	都市公園施設 及び植物の維持 管理業務の 実施方針	10	8	樹林地や草地管理、樹木、芝生、草 花などの植物管理業務等の実施方針	計画通りに実施 ・バーベキュー場の周辺にモデルエリアを設定し、 試験伐採や更新にかかる下刈りや落ち葉掻き等を行 い、里山管理の実践の場として活用した。 ・ナラ枯れ被害が拡大していることから、クリア ファイルなどを利用したナラ枯れ対策を実施した。 ・資源循環型の維持管理として、公園の間伐材を、 土留柵の材料に用いている他、間伐材を炭焼きで焼 き、バーベキューの燃料として100%活用するほか、 トイレの消臭剤にも活用している。また、炭焼時に 出る木酢液は、園路に散布し、コケ除去に活用する など、この公園独自の工夫を行っている。 ・ヤマビル対策として、園内10か所に「塩ボック ス」を設置した。	・試験伐採や落ち葉掻きなどの里山管理を実 践するとともに、ナラ枯れへ対策も実施する など、業務の基準及び提案書のとおり適切に 管理し、安全確保のための植物管理が行われ ている。 ・資源循環型の維持管理にも積極的に取り組 んでいることも評価できる。 ・引き続き、適切な植物管理に努めるととも に、ヤマビル対策も継続してらいたい。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り		
	(3)	利用促進のための取組、利 用者への対応、利用料金	利用促進の取 組		10	8	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑 散期等)、新しい生活様式などの社 会状況に応じて、多くの利用を図る ために実施する事業の実施方針、内 容等（有料施設は除く）	○ 森林セラピー基地としての位置づけを踏ま えた健康促進プログラム、拠点施設（森の民話 館、森のアトリエ、森のかけはし）を活用した イベント、地域資源の活用・連携の3つを柱と したレクリエーションプログラムやサービスを 充実させ、年間を通して楽しめる公園づくりに 取り組む。	概ね計画通りに実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「なな さわ緑のまつり」「森のまつり」は中止したが、森 セラピー体験ウォークなど、その他のイベント は、概ね事業計画どおり適切に実施した。 ・地元七沢に伝わる文化や習わしを紹介するイベ ントを開催した。 「ツリークライミング」（雨天中止） 「ミニ門松づくり」12月 59名 「陶芸体験」 401名 「こえた工作体験」148名 「森のアトリエ 陶芸サークル」1194名 「森のかけはしライトアップ」12/10～12/25 「ノルディックウォーキング」5/15 60名 「マンドリン演奏会」9/23 157名 など多数開催	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、大規模イベントは中止となり未実施だっ た。 ・ノルディックウォーキングイベントは、台 風により中止した月もあるが、前年度よりも 3倍近い参加者を集めており、公園特性を活 かしたイベントを年間を通じて開催し、概ね 提案書どおり適切に実施されている。 ・引き続き適切な利用促進に努めてもらいた い。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
							有料施設における利用者増及びサー ビス向上に資する事業の実施方針、 内容	○ 利用者の利便性を高めサービス向上を図る ため、有料駐車場、自動販売機を運営する。	計画通りに実施 ・地元の七沢観光協会に委託し、4月から11月ま での土日祝は中央口駐車場と第2駐車場を有料で運営、 3月から11月までは同じく七沢観光協会に委託し バーベキュー場を運営した。 ・自動販売機は9基設置しサービス充実を図った。	・駐車場やバーベキュー場などを適切に運営 している。 ・引き続きサービス向上に努めてもらいた い。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
							多くの利用を図るために行う広報・ 情報発信の工夫等	○ 地元自治体や地域の関係機関と連携して、 地域全体で広域集客の推進に取り組むととも に、インターチェンジ開通を活かしたPR強化 等、多様な手段を通じて積極的な広報活動を展 開する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念し、令 和4年度の広報は、HPや園内掲示による告知ものを 中心に実施した。	・広域的な集客を得られるよう、今後は関係 機関と積極的に連携し、効果的な利用促進に 努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
							公園の特性をより効果的に活かすた めに行う自主事業の内容等	○ 利用者サービス及び公園の価値向上を図る ため、バーベキュー場、陶芸体験、ケータリン グカーの運営を自主事業として行う。	ほぼ計画通りに実施 ・バーベキューや炭焼・こえた工作体験など、サー ビスの充実を図った。 ・「緑のまつり」でケータリングカーの実施を計画 していたが、コロナ感染症の感染対策のため、イ ベントそのものを中止した。	提案書のとおり適切に運営している。 ・コロナ対策のため実施できなかった事業も あるが、今後は積極的に利用促進に努めても らいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
							利用料金の設定、減免の考え方（有 料施設がある場合のみ）	○ 駐車場、自動販売機の料金設定について は、民間も含めた同様の施設を考慮したうえ で、公の施設として相応の額を設定する。	計画通りに実施 ・駐車場や自動販売機などの料金設定は、民間も含 めて同様な施設の料金設定を考慮し、公の施設と して相応の料金設定とした。	・提案書のとおり適切に運営している。 ・引き続き利用促進に努めてもらいたい。	○			
							接客や利用者との対話、公園利用 ルールの利用者への助言、指導等の 考え方	○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、 誰もが安心・安全・快適に公園を利用してい ただけよう、スタッフ全員が、利用者との双方 向コミュニケーションを重視したホスピタリ ティ溢れる接客に努める。	計画通りに実施 ・基本的な接客姿勢と対応の確保について、全体会 議の場で全職員に徹底した。 ・新規採用者には管理員の心構や接遇について研修 を実施した。 ・公園の利用ルールについては、各所にイラストを 掲げながら分かりやすく表示した。	・提案書のとおり適切に実施している。 ・引き続き、会議や研修を通じて、スタッ フの接客姿勢の向上に努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
	サービス向上のために行う利用者 ニーズ・苦情の把握及びその内容の 事業等への反映の仕組み等	○ すでに公園を利用している人のみならず、 これから公園を利用する可能性のある潜在的 利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」 「②分析」のうえ、「③運営を改善」するこ とで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲 得」を図る。	計画通りに実施 ・日常アンケート及び詳細アンケートにより、利用 者のニーズ等を把握した。	・提案書のとおり適切に実施している。 ・年間約23万人に利用される中で、指定管理 者に起因する利用者からの苦情・要望がない ことは特筆すべきものである。指定管理者が 利用者の視点に立った管理運営を日ごろから 心がけ、業務を実施していることが伺われ る。 ・アンケートの結果では、5段階中上位2段 階の評価が98.2%と高いため、今後も取組を 継続してらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り						

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ 外国の方への多言語での対応に取り組むほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	計画通りに実施 ・外国人にとってわかりやすく、障がい者や高齢者の利用にも利用環境の向上に努めた。	・提案書のとおり適切に配慮し、ユニバーサルな対応を推進している。	○			
						神奈川県手話言語条例への対応	○ コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができていないことを示す「耳マーク」をパークセンターに掲示するほか、利用者への手話の普及啓発に取り組む。	計画通りに実施 ・協会本部に手話対応の部署を設け、各種研修やクレーン対応のバックアップ体制を整えた。	・提案書のとおり適切に実施している。 ・引き続き、利用者への手話の普及啓発に取り組むことを期待する。	○			
	(4)	事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	○ 広かつ樹林地に囲まれ起伏の多い公園であり、死角における事件・事故や迷子の発生、倒木の危険性、スズメバチやヤマビルによる被害等に対し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。	計画通りに実施 ・事故防止の取組として、公園管理運営士資格を有する職員による施設点検を実施するとともに日々の安全確認に加え、安全管理が適切に履行されているかを確保するため協会本部職員が抜き打ちで2回検査を行った。 ・防犯対策として、日常パトロールを実施し、地域と一体となった防犯対策として、厚木警察署との連携により月1回の巡視を行ってもらった。また、「子ども110番の家」に登録し、地域防犯に努めた。 ・安全管理マニュアルを整備し、職員全員の安全管理の意識を共有するとともに、研修を6回開催した。	・提案書のとおり適切に実施している。 ・事故防止の取組として、施設点検や打ち抜き検査など事故防止の取組を継続することを期待する。 ・「子ども110番の家」活動を開始する等、引き続き、積極的に地域防犯に取り組むことを期待する。 ・引き続き、スタッフに安全研修を実施し、安全管理にかかる意識の共有に取り組むことを期待する。	○			
						樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○ 樹木の過密化、巨木化が進んでおり、近年、枯損木や危険木等の課題が顕在化していることから、特に危険性の高いエリアや場面を見極め、危険因子の早期発見・対処に努める。また、日々の点検と対応を行うとともに、台風などの前後には、集中的な点検・巡視を実施し、倒木等を早急に処理する。	計画通りに実施 ・枯損木や倒木の有無の確認を重点的にパトロールした。	・提案書のとおり適切に点検し、事故防止に努めている。 ・引き続き、倒木や落枝による公園利用者への事故の未然防止に繋げることを期待する。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
						事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者によって外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	○ 事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先として「クライシスマネジメント」の考え方を取り入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策まで確実な業務フローにより対応する。	計画通りに実施 ・災害対策活動指針に基づき体制を整え、安全管理マニュアルに基づき対応した。 ・AEDや救急箱を常備し、保守点検に努めた。	・提案書のとおり適切に実施している。 ・引き続き、事故発生時に適切に対応できるよう、普段から備えておくことを期待する。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等	○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には、「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。	計画通りに実施 ・AEDを公園管理事務所と森のアトリエに各1台ずつ設置した。12/2に取扱い訓練を実施した。	・提案書のとおり適切に対応している。 ・引き続き、事件や事故の際に適切に対応できるよう、訓練を継続することを期待する。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○ 新型コロナへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより、「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。	計画通りに実施 ・基本的な感染防止対策を徹底し、安心して公園を利用いただけるよう環境整備に努めた。	・提案書のとおり適切に対応している。 ・今後、新型コロナに係る特別な対応を行う際は、マニュアルを活用し適切に対策を行うことを期待する。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	計画通りに実施 ・1月に緊急参集訓練を実施した。 ・毎年12月に全職員を対象に初期消火訓練や救急救命講習、AED取扱訓練を実施した。	・提案書のとおり適切に対応している。 ・引き続き、異常気象の際に適切に対応できるよう、訓練を継続することを期待する。	○			
	災害への対応 (事前、発生時)	5	4	公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」等に沿って迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、本協会と連携し、公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動対応を図る。	計画通りに実施 ・地震発生時の緊急参集職員には、公園近隣在住の職員を優先的に配置するなど初動体制を確立し、1月に緊急参集訓練を実施した。	・提案書のとおり適切に対応している。 ・引き続き、地震発生に適切に対応できるよう、訓練等を継続することを期待する。	○					
				大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○ 大地震発生時には、遠方からの利用者が帰宅困難となることも懸念されることから、一時避難場所としての指定はないが、利用者や地域住民の避難や救助に的確に対応していく。また、災害時の限られた人員でも迅速かつ確実な対応がとれるよう、利用者や自治会等と協働で防災訓練を実施するなどして連携を深める。	計画通りに実施 ・震災時に活用される施設の点検周期、方法を定めてチェックリストを作成しパトロールを実施した。	・提案書のとおり適切に対応している。 ・引き続き、大地震発生時に適切に対応できるよう、確認を継続することを期待する。	○					

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	5	4	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 地域の団体や人材との協力体制の強化することで、施設への愛着や親近感を高め、生きがいづくりやコミュニティ形成に貢献する。	ほぼ計画通りに実施（一部コロナ禍で中止） ・ 厚木消防署との連携で消火器訓練を、地元小中学校の学習活動の支援でクラフト教室出前講座、職場体験受入れを、東京農業大学との森林更新の試行を実施した。	・ 提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 試行した内容を振り返り、実施に向けて取り組むことを期待する。	○		○	・ 月例報告 ・ 聞き取り
					ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ ボランティアとの協働の方針や活動支援内容を盛り込んだ「公園ボランティア活動要綱」を定め、より多くの方が参加できるような環境づくりに努めるとともに、研修会等を開催し、育成に取り組む。	計画通りに実施 ・ 地元の森林づくりボランティアとの連携・協働により森林整備や除草を実施した。	・ 地元の森林ボランティアとの連携・協働により森林整備や除草を実施する等、提案書のとおり適切に取り組んでいる。	○		○	・ 月例報告 ・ 聞き取り
					周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 本公園が、丹沢の自然に親しむきっかけとなるよう、自然環境保全センターや丹沢地域の県自然公園ビジターセンターとの情報交換を行う等、周辺施設と連携し、利用者への情報提供を進める。	計画通りに実施 ・ 県自然環境保全センターと連携し「関東ふれあいの道（首都圏自然歩道）」の情報交換と、野生動物の発生状況等の情報共有を行った。 ・ 秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターと連携し「丹沢通信」を園内掲示した。	・ 提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 事務所前の掲示板や県自然環境保全センターや各ビジターセンターと連携した自然環境にかかる利用者への情報提供を、引き続き、行うことを期待する。 ・ 県自然環境保全センターと連携した丹沢の自然情報の共有を、引き続き、取り組むことを期待する。 ・ 各ビジターセンターと連携した丹沢の情報発信を、引き続き、取り組むことを期待する。	○		○	・ 月例報告 ・ 聞き取り
					地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 業務委託を行う場合には、地域中小企業等への発注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、森林組合、シルバー人材センター等の地元非営利団体とも継続的に業務委託することで地域連携を図る。	計画通りに実施 ・ 森林組合、シルバー人材センターなどの地元非営利団体と継続的に業務を行った。	・ 提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 引き続き、地域と連携した取組を期待する。	○			
Ⅲ 団体の 業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	計画通りに実施 ・ コンプライアンス要綱を全体会議で周知すると共にごみゼロアクセスの取組として、公園に隣接する厚木市道のごみ拾いを年4回実施した。 ・ 園内マップの裏面を利用し、四季ごとの花の見どころや野鳥の情報を発信した。	・ 提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 引き続き、法令順守しながら取組を継続することを期待する。	○			
					指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	計画通り実施 ・ 環境負荷軽減として、園内発生材の木材の利用した。 ・ 管理事務所に緑のカーテンを設置し、夏場の省電力化を行った。	・ 提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 引き続き、環境に配慮した取組を継続することを期待する。	○			
					法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については法定雇用率を達成している。	計画通りに実施 ・ 障害者雇用率の達成基準に相当している。	・ 提案書のとおり適切に実施している。 ・ 引き続き、法定雇用率の達成に向けて、適切な対応に努めてもらいたい。	○			
					障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組んでいる。	計画通りに実施 ・ バリアフリーマップの作成や筆談対応、積極的な声掛けによる利用案内など、より丁寧な対応を実施した。 ・ 公園利用者等への普及啓発としてポスター掲示を行った。	・ 概ね提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 障がい者に応じた利用への配慮や意思疎通への配慮した取組をスタッフが継続することを期待する。 ・ 公園利用者等への普及啓発活動に、引き続き、取り組むことを期待する。 ・ 合理的配慮の提供は、令和6年4月から事業者に義務化されるため、積極的に研修を受講し、現場へ反映することを期待する。	○			
					神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	計画通りに実施 ・ 外部講師を招いた手話講習会を本部主催で実施した。	・ 提案書のとおり適切に対応している。 ・ 引き続き、障がい者の安心安全な利用環境の確保に努めるとともに、研修等の実施を期待する。	○			
					以下について、取り組む。 ・ 災害時の公園のポテンシャルの向上や再生可能エネルギーの積極的な活用 ・ 誰もが安全安心に楽しめる公園管理や防災機能の確保 ・ 生物多様性に配慮した維持管理や環境教育の推進 ・ 森林を活かした健康プログラムの提供 ・ 地域連携の強化や地域の情報発信による活性化	計画通りに実施 ・ 園内の発生材を活用した木炭は、BBQの燃料やトイレの消臭剤として活用した。	・ 提案書のとおり適切に取り組んでいる。 ・ 引き続き、提案書に示したSDGsにかかる取組を期待する。	○				

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）			
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
Ⅲ 団 体 の 業 務 遂 行 能 力	(7)	事故・不祥事への対応、個人 情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年 間の重大な事故または不祥事の有無 ならびに重大な事故等があった場合 の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	計画通りに実施 ・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業 務を遂行した。	・提案内容のとおり（業務の基準及び提案書 の通り）適切に運営している。 ・引き続き、重大な事故や不祥事を起こさな いよう努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					個人情報保護についての方針・体 制、職員に対する教育・研修体制及 び個人情報の取扱いの状況	○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利 用者等の個人情報を適切に管理することが必要 不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護 方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する 研修の実施により、個人情報の適正な保護に取 り組む。	計画通りに実施 ・法令遵守及び個人情報保護法に基づき、適正に措 置を講じた。	・提案書のとおり適切に実施している。 ・引き続き、個人情報の適正かつ確実な管理 を期待する。	○			

※「事業実績の確認方法（G）」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績（E）」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	七沢森林公園
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
バーベキュー広場	ながめの道 (ノルディックウォーキング体験)
	
森のアトリエ (アルプホルン)	森の民話館 (マンドリン演奏会)